

県工東京倶楽部の歴史【同窓会“会報”に見る東京支部】

本リストは、「同窓会・会報」の総てを閲覧し、東京支部が掲載された記事をリストアップしたものである。

会報発行・年度	支部長・寄稿者	寄稿タイトル・キーワード等
昭和46年 (1971) 「いぶき」創刊号 12月25日発行	鹿野八郎・28 機械 東京支部会長	・「心躍る同窓会の活躍」 (仕事に自信と誇りもつ)
	鈴木和男・28 建築 東京支部副会長	・「視野をひろげよう」 (めまぐるしい時代に対処)
	茂木助次・27 建築 建設会社代表取締役	・「東京で頑張る“二八会”」 (28年卒生の活躍、創刊お祝い)
平成6年 (1994) 会報・第2号 2月発行	鈴木和男・28 建築 東京支部会長	・「東京支部の現状・今後の活動」 本部同窓会事務局と連絡を取りながら、東京支部の総会を定期的に開催したい。東京支部からの報告内容は特でない。
	瀬戸実・43 電子	・「真空管でアンプ手作り」 朝日新聞 平成6年月1日23日に掲載
平成11年 (1999) 第7号	鈴木八郎・28 建築 東京支部長	<ul style="list-style-type: none"> 東京支部・新役員発足に当たってご挨拶。 副支部長 30 機械 熊谷好修 副支部長 34 機械 八巻幸一 書記長 35 機械 清野末吉 庶務会計 40 電子 油井昭男 監査役 29 建築 片平俊雄 相談役 27 機械 斉藤清一 相談役 28 建築 鈴木和男 相談役 27 機械 鹿野八郎 <ul style="list-style-type: none"> 平成10年11月22日 東京上野 福島会館にて17年ぶりに総会を開催した。20数年間支部長を務めた鈴木和男が会長を辞退。鈴木八郎へ引き継いだ。
平成12年 第8号	—	・創立50周年記念 同窓会館「いぶき館」建設始まる。
平成13年 第9号	—	・同窓会館「いぶき館」建設工事の進捗記事掲載。
平成14年 (2002) 第10号	菅野定夫・28 建築 東京支部長	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京支部便り」コラム新設、記事掲載が開始。 (東京支部頑張っています) 会員1,450名。 菅野支部長のプロフィール紹介。 東京支部総会を母校で5月25日に開催することを案内。 いぶき会館で総会開催。バスツアー、会費2万円、飯坂泊。
平成15年 (2003) 第11号	菅野定夫・28 建築 東京支部長	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京支部便り」(東京支部更に躍進を目指す) 総会報告を300名に配布。 会員100名から年会費納入あり。 Eメール名簿作成準備。 鎌倉・江の島散策 イベント計画を案内。

同窓会報・年度	支部長・寄稿者	寄稿タイトル・キーワード等
平成 16 年 (2004) 第 12 号 2 月発行	菅野定夫・28 建築 東京支部長	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京支部便り」(出来ることから実践する) 羽田ジャンボ機見学を案内。 ・「私の県工、在学当時の思い出」コラム新設。
	熊谷好修・30 機械 相談役	<ul style="list-style-type: none"> ・「私の県工、在学当時の思い出」 (在学中の思い出と若い人達に伝えたい事)
	鈴木八郎・28 建築 顧問	<ul style="list-style-type: none"> ・「保護司 22 年、人は変わる」(鈴木歯科技工所経営) 東京都文京区保護司会・50 周年記念誌より転載
平成 17 年 (2005) 第 13 号	菅野定夫・28 建築 東京支部長	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京支部便り」(今年もイベントで活性化を計る) 羽田ジャンボ機見学会を報告。 三菱みなとみらい館見学を案内。
	山崎忠弘・39 機械 顧問・理事	<ul style="list-style-type: none"> ・「私の県工、先輩からのメッセージ」タイトル更新 (在学中の思い出と後輩に対して思うこと)
平成 18 年 (2006) 第 14 号	安斎秋雄・40 電子 東京支部長	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京支部便り」(けんこう信夫会で継続的に活動) 三菱みなとみらい館見学を報告。 母校サッカー全国大会を応援。 那須高原湯本温泉バスツアーを案内。
	白坂敏男・30 建築 顧問・理事	<ul style="list-style-type: none"> ・「私の県工、先輩からのメッセージ」 (県工在学当時の思い出)
	山田幸祐・31 機械 副支部長	<ul style="list-style-type: none"> ・「私の県工、先輩からのメッセージ」 (同窓会活動と母校の思い出)
平成 19 年 (2007) 第 15 号	安斎秋雄・40 電子 東京支部長	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京支部便り」(事業計画を報告) 那須高原湯本温泉バスツアーを報告。 JFE 鋼板(株)千葉製造所見学を案内。
	八巻幸一・34 機械 顧問	<ul style="list-style-type: none"> ・「私の県工、先輩からのメッセージ」 (卒業後の体験から)
	佐藤英次・44 電気	<ul style="list-style-type: none"> ・「私の県工、先輩からのメッセージ」 (私の県工)
平成 20 年 (2008) 第 16 号 創立 60 周年	安斎秋雄・40 電子 東京支部長	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京支部便り」(東京支部の近況報告) JFE 鋼板(株)見学を報告。 母校バスケットボール全国大会を応援。 皇居東御苑の散策を案内。
	斎藤活夫・38 電気	<ul style="list-style-type: none"> ・「私の県工、先輩からのメッセージ」 (県工生の誇)
	笠井和美・43 機械	<ul style="list-style-type: none"> ・「私の県工、先輩からのメッセージ」 (キドニタテカケシ衣食住)

同窓会報・年度	支部長・寄稿者	寄稿タイトル・キーワード等
平成 21 年 (2009) 第 17 号 2 月発行	安斎秋雄・40 電子 東京支部長	・「東京支部便り」(東京支部の近況報告) 皇居東御苑の散策を案内。 筑波宇宙センター見学・バスツアーを案内。
	菅野定夫・28 建築 最高顧問	・「私の県工、先輩からのメッセージ」 (人生にはドラマがある)
	小林信雄・31 機械	・「私の県工、先輩からのメッセージ」 (夢とチャンス)
平成 22 年 (2010) 第 18 号	安斎秋雄・40 電子 東京支部長	・「東京支部便り」(総会報告、役員会報告) 筑波宇宙センター見学を報告。 鉄道博物館の見学を案内。
	高澤春男・39 工化	・「私の県工、先輩からのメッセージ」 (60 にして耳順う)
	渡辺勇吉・46 機械	・「私の県工、先輩からのメッセージ」 (離職率の選択肢と人脈)
平成 23 年 (2011) 第 19 号 東日本大震災 3.11	山田幸祐・31 機械 東京支部長	・「東京支部便り」(総会を親睦会主体に新たな提案) 鉄道博物館の見学を報告。「県工東京倶楽部」愛称決める。 母校バスケット全国大会を応援。 NHK 放送博物館の見学を案内(震災のため総会等を自粛)。
	鈴木辰雄・31 機械	・「私の県工、先輩からのメッセージ」 (魅力ある「場」の創出に精進されること期待します)
	阿部広之・55 機械	・「私の県工、先輩からのメッセージ」 (人生、常に勉強です)
平成 24 年 (2012) 第 20 号	山田幸祐・31 機械 東京支部長	・「東京支部便り」(震災時の情報対応報告) 東京会員より義捐金 45 万円応募。 東京と本部より母校へ震災被害義捐金 200 万円贈。 総会等の自粛を報告、NHK 放送博物館の見学を再案内。
	山崎忠弘・39 機械 副支部長	・「私の県工、先輩からのメッセージ」 (卒業生へのメッセージ)
	安斎秋雄・40 電子 前東京支部長	・「私の県工、先輩からのメッセージ」 (自己啓発を習慣にせよ)
平成 25 年 (2013) 第 21 号	山崎忠弘・39 機械 東京支部長	・「東京支部便り」(総会・親睦会報告) 新任支部長挨拶、活動方針。ホームページを刷新。 NHK 放送博物館の見学を報告。 次年度、国立科学博物館・地球館の見学を案内。
	熊谷好修・30 機械	・「私の県工、先輩からのメッセージ」 (反省は全身を生む)
	小林信雄・31 機械	・「私の県工、先輩からのメッセージ」 (東京圏へ就職、進学される方へ)

同窓会報・年度	支部長・寄稿者	寄稿タイトル・キーワード等
平成 26 年 (2014) 第 22 号 2 月発行	山崎忠弘・39 機械 東京支部長	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京支部便り」 総会、情報活動、東京福島県人会へ参加を報告。 国立科学博物館の見学、野口英世銅像拝観を報告。 次年度、先端技術館@TEPIA の見学を案内。 ・会報の誌面が B4→A4 版に変更。 ・「私の県工、先輩からのメッセージ」コラムと広告が削除。
平成 27 年 (2015) 第 23 号	斎藤活夫・38 電気 東京支部長	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京支部便り」 総会、親睦会、イベント、活性化活動を報告。 先端技術館@TEPIA の見学を報告。 総会・親睦会へ参加者の増員活動を積極的に進めた。 高尾山ハイキングを実施した。 次年度、東芝未来科学館の見学を案内。
平成 28 年 (2016) 第 24 号	斎藤活夫・38 電気 東京支部長	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京支部便り」 総会、親睦会、イベント、活性化活動を報告。 東芝未来科学館の見学を報告。 総会・親睦会へ参加者の増員活動を積極的に進めた。 会員のアンケートを実施、会員名簿を更新した。 金時山・江の島ハイキングを実施した。 次年度、貨幣博物館の見学を案内
	目黒仁一・49 電子	<ul style="list-style-type: none"> ・「卒業生に贈る言葉」 (骨太な技術者になれ！)
平成 29 年 (2017) 第 25 号	斎藤活夫・38 電気 東京支部長	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京支部便り」 総会、イベント、役員会活動報告。 貨幣博物館の見学を報告。 参加者増員活動により新会員増加した。 鋸山・箱根ハイキングを実施した。 次年度、江戸東京博物館の見学を案内。
	高野正勝・56 機械	<ul style="list-style-type: none"> ・「卒業生に贈る言葉」 (人との出会いで自己成長を)
平成 30 年 (2018) 第 26 号 創立 70 周年	目黒仁一・49 電子 東京支部長	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京支部便り」 総会、イベント、役員活動報告。 江戸東京博物館の見学を報告 参加者増員活動に口コミ勧誘、増員難しい。 鎌倉散策ハイキングを実施した。 次年度、消防博物館の見学を案内
	長谷川富士夫・46 電子	<ul style="list-style-type: none"> ・「卒業生の皆さんへ」 (原発事故の不安、記録の共有を)

同窓会報・年度	支部長・寄稿者	寄稿タイトル・キーワード等
平成31年 令和元年 (2019) 第27号	目黒仁一・49 電子 東京支部長	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京支部便り」 総会、イベント、役員活動報告。 消防博物館の見学を報告 70周年記念名簿を活用して参加者増員を図る。 箱根、鎌倉、ハイキングを実施した、高尾山を計画。 次年度、尾形好雄氏（エベレスト登山家）の講演会を予定
令和2年 (2020) 第28号	目黒仁一・49 電子 東京支部長	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京支部便り」 総会、イベントに初めて講演会（尾形好雄）を開催。 高尾山ハイキングを実施した。 次年度、梅津正道（南極観測隊）の講演を予定。 ・東京支部の総会開催を初めて「同窓会・会報」にて案内。 ・関東6県+静岡県へ同窓会本部から案内を配信。
	阿部政芳・42 電子	<ul style="list-style-type: none"> ・「エンジニアへの道と同窓会」 （社会人の生き方のヒント3点）
令和3年 (2021) 第29号	長谷川富士夫・46 電子 副支部長（支部長）	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京支部便り」 総会を予定し、22名が出席者予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言の発出により総会中止。 ・古関裕而夫妻モデルの朝ドラ「エール」 ・「目黒仁一」東京支部長が10月、逝去
	大島遊亀慶・48 電子	<ul style="list-style-type: none"> ・「人生、節目と決断」 （日本IBMに勤務、頑張る、諦めないことが信条）
令和4年 (2022) 第30号	長谷川富士夫・48 電子 東京支部長	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京支部便り」 新型コロナウイルス感染拡大で、総会など東京支部の活動中止 ・2007～2020年の「総会・イベント」を紹介
	小林信雄・31 機械	<ul style="list-style-type: none"> ・「好奇心」で豊かな人生を （国家プロジェクト従事、井の中の蛙、大海を知る）
令和5年 (2023) 第31号	長谷川富士夫・48 電子 東京支部長	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京支部便り」 2022年もコロナ禍で総会・親睦会を中止した。 ・「東京ガス・四谷クラブ」閉鎖 ・工業高校の最新の新聞情報、技術革新の多様化 ・東京支部は、明るく、楽しく、元気よく、がモットー
	牛坂正博・46 電子	<ul style="list-style-type: none"> ・「いつの日か同窓会に意識を」 （定年を迎えると、誰かに会ってみたいくなる）

同窓会報・年度	支部長・寄稿者	寄稿タイトル・キーワード等
令和6年 (2024) 第32号	長谷川富士夫・48 電子 東京支部長	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京支部便り」 コロナ禍で4年ぶりに総会・親睦会を開催した。 ・総会イベントは「日本科学未来館」を見学 ・オンライン会議を試行、今後導入したい ・東京福島県人会、福島市ゆかりの会に入会
	梅津定一・34 機械	<ul style="list-style-type: none"> ・校訓「誠実・勤労・健康」の人生を (人生はマラソンのように快走あり、苦勞あり)